

予算決算常任委員会報告

委員長 坂本 武人 副委員長 池永 幸生
委員 議長を除く全議員

【総括質疑】
①ふるさと納税事業について
 ①ふるさと納税に係る事務経費及び寄付額と住民税控除額の収支差額の推移確認
 ②今後のふるさと納税制度に対する政策方針及び具体的対策の有無の確認
答 寄付額から経費及び税控除を差し引いた収支差額については、平成25年度91万円、26年度190万円、27年度126万円、28年度

【審議日程】
 ●平成29年12月1日(金) 予算決算常任委員会(全体会)
 質疑及び分科会(総務分科会、文教経済分科会、健康福祉分科会)を設置し付託事件の審査を行うこととした。
 ●平成29年12月4日(月) から12月5日(火) 予算決算常任委員会(各分科会) 3分科会による審査を行った。
 ●平成29年12月8日(金) 予算決算常任委員会(全体会) 分科会長報告、自由討議により分科会長報告に対する質疑及び総括質疑事項の選定を行った。
 ●平成29年12月14日(木) 予算決算常任委員会(全体会)

【総括質疑】
②子育て支援事業について
 ①子育て支援事業の進捗状況の確認
 ②子育て支援事業の予算化までの背景と経緯の確認
 ③着想する具体的ビジネスモデル及び市内生産者への還元方策の有無の確認
答 本事業は本年7月、「企業立地推進法」に上乗せ改正された「地域未来投資促進法」の施行に伴う地方創生推進交付金を活用して「株式会社ビタミン・カラー」が提案した、パッシブハウスを用いた高次元の農業を域内で事業化することを目的としている。具体的には、辻久保地区に建設予定の選果加工場及び農業機器や農業に關係する企業が入る、コーポラティブオフィスの設備投資に係る費用

は熊本地震の影響もあり、660万円となっており、県下においては中位を推移している状況である。ふるさと納税制度に対する今後の市の基本方針としては、財源確保の観点から重要視しており、積極的に制度を活用する方針に変更はない。具体的には、28年度から開始しているふるさと納税サイトの充実が効果的だと考えられるが、利用料も応分するので実績と状況を確認しながら判断していきたい。
【分科会】
①子育て支援課
国保年金事務費のシステム修正委託199万円の具体的内容
答 年金事務所へ電子媒体で報告等を行うための改修及び年金生活者支援給付金対象者の判定に必要となる所得情報等を、日本年金機構へ継続的に提供するための改修である。

【分科会】
②子育て支援課
子育て支援ガイドブックの記載、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。
答 子育て支援ガイドブックに記載し、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。
【分科会】
③子育て支援課
子育て支援ガイドブックの記載、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。
答 子育て支援ガイドブックに記載し、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。

を次年度支援することになる。市内生産者への還元としては、ここで得られた成果物(機器・設備、新品種等)について、地元農家に対し実証的に提供することで生産性の向上や生産課題の解決等、地域農業の発展及び収益増に資するような仕組みづくりを考えていきたい。
【分科会】
④子育て支援課
子育て支援ガイドブックの記載、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。
答 子育て支援ガイドブックに記載し、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。

【分科会】
⑤子育て支援課
子育て支援ガイドブックの記載、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。
答 子育て支援ガイドブックに記載し、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。

【分科会】
⑥子育て支援課
子育て支援ガイドブックの記載、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。
答 子育て支援ガイドブックに記載し、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。

健康福祉常任委員会・予算決算常任委員会健康福祉分科会

委員長 西島 隆博 副委員長 来海 恵子
委員 濱元幸一郎 委員 大住 清昭
委員 青山 隆幸 委員 濱口 正曉

【分科会】
平成29年度合志市一般会計補正予算
【福祉課】
障害児通所給付事業の児童発達支援・放課後等デイサービス給付について、利用者は現在何人くらいで、どれくらい増えているのか
答 現在の利用者は430人であり、平成28年度から53人増えている。
【高齢者支援課】
養護老人ホームに8月、9月

【常任委員会】
平成29年度合志市介護保険特別会計補正予算(第2号)
【反対討論】 高齢者にさらに負担を押しつける制度改革と思うので反対である。また、番号制度システム改修委託については、情報漏えいの問題も指摘されており実施すべきでないと考えられるため反対である。
【賛成討論】 高齢化に伴い介護保険の利用者が増えており、支出も増えている。システム改修費については、一般会計からの繰り入れであり、高齢者の負担を押しつけるものではない。また、介護保険や国民健康保険等の被保険者の利便性向上のため必要なものであり賛成である。

【健康づくり推進課】
国保年金事務費のシステム修正委託199万円の具体的内容
答 年金事務所へ電子媒体で報告等を行うための改修及び年金生活者支援給付金対象者の判定に必要となる所得情報等を、日本年金機構へ継続的に提供するための改修である。

に2名が新たに措置入所になったということだが、本市では何人養護老人ホームに入所されているのか。
答 光進園に2名、ライトホームに2名、こすもす荘に8名の合計12名入所されている。
【子育て支援課】
子育て支援ガイドブックの記載、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。
答 子育て支援ガイドブックに記載し、転入の際の配布や窓口にも備えている。児童館での相談業務の充実や保育コンシェルジュも活用し相談体制を整えていく。



合志市子育て支援ガイドブック

研修

平成29年10月16日～18日
沖縄県糸満市・沖縄県那覇市

10月16日 沖縄県庁
「待機児童解消の取り組み」
 沖縄県は、人口増加率が全国で最も高く出生率も非常に高い地域である。しかし、待機児童数が多いため、その解消に向けた取り組みを急務と捉え、以下の支援策を行っている。①市町村の財政負担への補助②保育士の養成、離職防止等の保育士確保に関する支援③認可外保育施設の認可化への支援及び入所児童の処遇向上④市町村の執行体制の強化として基金の活用。
 特に②の潜在保育士確保に対する支援など、県独自の支援を行っていることが特徴であった。



那覇市での研修の様子

10月17日 沖縄県那覇市
「百金食堂の取り組み」
 那覇市真地団地は世帯数約1500世帯、人口約40000人で、65歳以上の高齢者が8600人である。団地内の高齢者の居場所づくり、孤食の改善を目的に「百金食堂」が始まった。1食100円と安価で運営は非常に厳しく、市の補助金や自治会、ボランティアで食材の仕入れを工夫するなど、様々な

10月17日 沖縄県糸満市
「介護予防・日常生活支援総合事業」
 糸満市は、沖縄本島の最南端に位置し、人口約6万人、面積約46km²、高齢化率19.2%である。糸満市における介護予防・日常生活支援総合事業では、生活応援隊の名称で、講座受講者が、掃除、洗濯等の支援を行える市独自のサービスを、月に2回、午前・午後と44地区で開催している。この地域でのデイサービスが本市においても参考となった。